



# 焼津市立総合病院

開設者／焼津市  
所在地／〒425-8505 焼津市道原1000番地  
URL／<http://www.hospital.yaizu.shizuoka.jp/>



病床数 471床

医師数 111名

指導医数 40名

入院患者／日 317名

外来患者／日 991名

救急医療／日 46名



病院事業管理者兼病院長  
関 常 司



【ご案内図】



### 【理 念】

より良い医療の提供を行うとともに、市民の健康増進に貢献することで、市民の信頼に応えます。

### 【特 徴】

当院が立地する焼津市は、県庁所在地である静岡市の隣にあり、JR静岡駅から東海道線で13分の交通の便のよい町です。このような立地条件の中、当院は14万人診療圏における唯一の基幹急性期病院として、専門的な治療・手術をおこなっています。特に救急に関しては一次、二次はもとより大多数の三次救急まで対応しており、地域の救急患者の80%以上を受け入れています。救急患者は一日平均50人前後、救急車による搬送は一日あたり十数件となっており、上級医による指導の元、多様な症例を経験できます。各科独自のカンファレンスや脳神経内科、脳神経外科による脳神経疾患診療ユニットの毎日のカンファレンスは臨床研修に極めて有用です。

また当院は40万人二次医療圏における地域周産期母子医療センターであり、産婦人科、小児科を志す研修医に最適な教育環境を整えています。

### 診 療 科 目

内科、呼内、消内、循内、神内、血内、代内、腎内、精神、小児、外科、消外、胸外、乳外、整形、形成、脳外、皮膚、泌尿、産婦、眼科、耳鼻、放射、麻酔、病理、歯外、リハ、救急

### 処 遇

身 分	初期研修医（会計年度任用職員）			
給 与	1年次 基本給／月	305,800円	2年次 基本給／月	320,100円
	1年次 賞与／年	約970,000円	2年次 賞与／年	約1,400,000円
	諸 手 当	通勤手当、住居手当、医務手当、時間外手当、宿日直手当など		
	1年次基準支給額／年	約6,300,000円	2年次基準支給額／年	約7,540,000円
宿 舎	有（令和5年秋頃新宿舍へ） 現宿舍：1DK 月/12,000円～ 新宿舍：1LDK 月/30,000円		当 直	有
保 険	共済組合、健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険			

公表された数値は令和4年度時点であり、正規に採用された年度における規程等による。

# 臨床研修医(初期研修医)の研修プログラム

- **プログラム名** 焼津市立総合病院卒後臨床研修プログラム
- **募集定員** 10名(予定)(令和4年度採用数 10名(定員10名))
- **協力型病院** 浜松医科大学附属病院、静岡県立総合病院、静岡県立こころの医療センター、島田市立総合医療センター、静岡赤十字病院、中東遠総合医療センター
- **協力施設** (精神科) 藤枝駿府病院  
(地域医療) 浜松市国民健康保険佐久間病院、岡本石井病院、ほりお小児科、小長谷内科消化器科医院 前田産科婦人科医院、中山クリニック、こだいらクリニック、かわさきクリニック、やまもと小児科、焼津駅前整形外科リウマチ・リハビリクリニック、ふくむらクリニック  
(地域保健) 静岡県中部保健所、焼津市医師会訪問看護ステーション、介護老人保健施設ケアセンターゆうゆう

## プログラムの特色

- 救急診療研修
  - 日中の救急室8週に加え、4週分は2年間をとおして日直・準夜及び深夜帯の研修に充てる。指導医のsuperviseの下、first touchを重視している。1年次研修医は、平日準当直17時15分～22時30分、休日(土日祝等)日直8時30分～17時15分に来院した患者の対応をする。頻度を高くして(6回程度/月)、過度の肉体的疲労を加えることなく豊富な症例を経験する。受診者の多い時間帯でfirst touchを多くして、豊富な症例の中から重症例を選別できる能力を高める。2年次研修医は、17時15分～翌朝8時30分までの救急室研修を経験するが、翌日の担当手術などの予定を考慮しさらに月間当直回数を制限する(4回程度/月)。当直翌日の研修は午前までとし、健康面への影響を配慮し午後は帰宅する。
  - 人口14万人診療圏をカバーする救急室では、内科系、外科系ともバランスよく症例を経験できるが、その中でも交通外傷と脳血管障害、周産期疾患が多い。
- 診療科ローテーション
  - 2年間をとおして、内科(総合診療内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、循環器内科)28週、外科8週、小児科4週、麻酔科4週、救急室8週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療4週を必修科目としてローテーションし、32週間の選択期間を設ける。
  - 一般外来4週は、総合診療内科外来、外科外来、小児科外来、地域医療等で行う。
  - 当院で症例の少ない診療科領域で、さらに充実した研修を希望する場合は、協力病院に2ヶ月を上限として派遣している。
  - 小児科・産婦人科が周産期センター、神経内科・脳神経外科が脳卒中センター化されており、また消化器内科・外科、腎臓内科・泌尿器科の指導スタッフも多く、充実した研修が行われている。
  - 協力型は派遣元基幹病院のプログラムに従う。
- 診療科横断的な講義を開催している。また、研修医が経験症例を提示、発表するカンファレンスも開催している。
- 少数の医師で運営される浜松市国民健康保険佐久間病院、市内開業医・市内私立病院(後方支援病院)で実施する焼津市医師会での、地域・在宅医療・僻地医療研修を必修としており、基幹病院の中だけにとどまらない複数の視点から医療を考えられる機会を設けている。
- 院外研修会、学会で発表する機会を設けている(1～2回/年)。診療科でのカンファレンス、院内・外研修会、学会発表を通じて、プレゼンテーション技術の向上を図る。

※令和6年度(2024年度)ローテーション例

1ブロック(月)を4週とする

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
28週							8週	4週	4週	4週	4週
内科(総合診療内科、腎臓内科、消化器内科、脳神経内科、循環器内科)							外科	小児科	麻酔科	救急①	
…………… 1年次 救急(17:00～22:30 6回程度/月)、日直(休日8:30～17:15 1～2回程度/月) ……………											
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
4週	4週	4週	4週	32週							
救急②	産婦人科	地域医療	精神科	選択							
…………… 2年次 救急(17:00～8:30 4回程度/月) ……………											

## ◆ 医学生の皆様へ

病院事業管理者兼病院長 関 常 司

焼津市は人口14万人の地方都市でありながら総合病院は当院のみで、専門的な治療・手術のできる施設は極めて少ないのが特徴です。特に救急に関しては一次、二次はもとより一部の三次救急に属するものまで対応しなくてはならないことから、月平均で約1,400人の救急患者を受け入れており、そのうち約340人は救急搬送によるものです。(令和3年度)

特徴的なのは交通の要衝にあることから外傷患者が数多く受診することで、外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、口腔外科、形成外科などがチームで診療に当たることもしばしばです。また、当院の脳神経内科、脳神経外科からなる脳神経疾患診療ユニットは当医療圏有数の陣容であることから、救急医療では焼津市のみならず広域からの搬送を受け入れています。

もう一つの特徴は当院の産婦人科医と小児科医が極めて多く、周産期ユニットが充実していることです。

当地区においては住民の80%以上が当院を中心とした地元で治療を受けており、当院での研修によりいわゆるcommon disease から特定疾患および希少疾患に至るまで幅広く経験を積むことができます。

## 応募手続

応募資格	第118回医師国家試験(2024年)を受験する者で、マッチングシステムに参加する者			
必要書類	臨床研修申込書、履歴書、健康診断書、成績証明書、卒業(見込み)証明書、推薦状(提出が望ましい)			
募集締切	2023年7～8月頃			
選考方法	書類選考、面接、筆記試験等			
選考時期	2023年7～8月頃			
応募連絡先	担当課	病院総務課	担当者	医局担当
	T E L	054-623-3111	F A X	054-624-9103
	E-mail	ikyoku@hospital.yaizu.shizuoka.jp		